



静岡県立沼津商業高等学校同窓会
〒410-0917
静岡県駿東郡清水町徳倉1205
TEL.055-932-5747(FAX共用)

学生時代のことを思う



汪成元
(旧制四四回)

美しい富士山の麓下に綺麗で立派な沼津市があります。沼津市は私の第二の故郷です。沼商に入學して五年間、各恩師の教育を受けて同級生たちの友情の相助により昭和二十年、第四十四回生として卒業しました。これは私の人生にとって永久に忘れることは出来ません。顧みれば

一、木造校舎

当時学校の校舎は丸子町にあり、学校の入り口に入ると左側に校長室、その奥に行くと剣道場を兼ねた柔道場があり、右側には職員室と二つの教室が続いていました。

校舎の裏は広いグラウンドで、北側にプールがありさらにその奥は丸子神社へと続いており、そして丸子神社越の綺麗な富士山をいつも眺めることが出来ました

二、学校へ行く

NCSの帽章と二本の白線の帽子、詰め襟の制服、胸に輝く名札、これが生徒たちの日常の服装でした。そして毎日の通学は私の場合、我入道の土手に地区の生徒が集まり、そろって狩野川沿いに歩いて行きます。途中美しい富士山を眺めながら狩野川沿いに進み、いつも御成橋を渡って行くのが決まった通学路でした。その途中で上級生に会うとこれも決まって敬礼で挨拶しましたし、もし、小谷校長先生にでも会うことになれば全員立ち止まって敬礼しました。二本の白線入りの帽子に詰め襟の制服、これが沼商の自慢でした。

三、ラジオ体操

登校すると全校生徒による朝のラジオ体操から一日が始まります。広いグラウンドに各クラス別に生徒は整列し、体育の川島先生の号令によって一斉にラジオ体操を始めました。このラジオ体操には全校生徒はもちろんのこと、主任教師もそれぞれ参加して行われていました。それが終わると全員教室に戻り、いよいよ授業の始まりとなります。

四、季節に応じ運動を行う

たとえば、夏には千本浜で全校水泳をおこなったり、秋には恒例の運動会、そして冬になると一万メートルマラソンも行われました。これらには私も良く参加しました。さらに学科にも剣道や柔道が採り入れられ、私も熱心でした。

また、他校との対抗試合も盛んでした。沼中との野球の定期戦を始め、剣道、柔道、陸上競技などいろんな種目で他校と対抗試合が行われ私も良く見学に出かけたものです。

また、勤労奉仕にもよく参加しました。いま私はすこぶる健康ですが、これは沼商時代のいろいろな運動や沢山の勤労奉仕、剣道や柔道の学科によるものと感謝しています。

五、文化や習慣の勉強も必要

私が沼商二年生の時の話ですが、当時、根岸先生という先生がおられ、ある日黒板に「朝顔」と書かれました。私は「朝」と「顔」という字の意味から、朝目覚めたときの姿を思い浮かべ、それで作文をつくりました。ところが、先生は私の作文をクラス全員の前で読み上げ、大笑いされた記憶があります。私は「朝顔」が花の名前であるとはつゆ知らず大笑いされたわけです。

中国では「朝顔」は牽牛花とか喇叭花などと呼んでいます。この

ように花の名前や日常の小さな作法までそれぞれの国によって、呼び名や方法の違いが多々あります。日本では「郷に入ったら郷に従え」という諺もあるようですが、それぞれの国の文化や習慣の違いをよく勉強しなくてはとその時以来痛切に感じています。

上海にて 二〇〇五年二月
(汪さんは沼商在学中「結城成元」という日本名を名乗っていました。)

第五十三回同窓会総会のご案内

引き継ぎ、受け継ぎ

沼商 丸子愛!

第五十三回同窓会総会を左記の日程により開催します。数多くの同窓生の出席を期待してご案内いたします。

記

日時 平成十八年 一月十五日(日)
場所 ホテル沼津キャッスル
受付 十二時三十分
総会 十三時三十分
懇親会 十五時十七時三十分
会費 六千五百円
(事前振り込み者)。

当日払い 七千円

申し込み法・新聞広告掲載希望者など詳しいことは、折り込みの「第五十三回同窓会案内」をご覧ください。

「終の棲家」の日々



古瀬芳男

(高十一回)

私は高校十一回の卒業生で、当時は住まいの御殿場から「やま線」と俗称されていた御殿場線を利用して通学していました。

また、私は極度の内向的性格でろくに勉強もせず、やっとの思いで卒業でき、無試験で沼津にあった大昭和紙工(株)に入社できました。

私の内向性は女性と話もできないほどでしたが、入社した大昭和紙工は女性ばかりの会社でした。

なんととしても人と喋れるようになりたい、その上、彼女も欲しい。人並みに結婚もして、これも人並みに家庭も持ちたい。

そこで一念奮起して、私は大昭和紙工を退社することを決心しました。昭和四十年暮れも迫った十二月のことでした。私は人前で自由に喋りたいの一心から、セールスマンを次の仕事とすることを心に決めていました。セールスマンなら喋らなければ仕事にならない。その結果、必然的に喋れるようになるだろうと、意を決して自らプロセールの道を選び、第一生命の門を叩きました。

第一生命に入るや朝は暗い内からほぼ夜中まで今日は二〇〇軒、明日は二〇〇軒と飛び込みセールスの毎日でした。

ところが喋ることが大の苦手なため「今日は!」「こんちは!」しか云えず、とうとう「こんちはの若い衆」と渾名されるようになってしまいました。しかし、そんなことを長く続けた結果なのか、だんだんお客様の方から話しかけてくれるようになり徐々に契約をいただけるようになりました。

入社二年目の「生命保険の月」には、当時七万人ほどいた第一生命のセールスマンの中で一〇〇傑入りを果たすことができ、そして昭和四十四年には全国どこにでも移動することを条件に、ついに「営業支部長」に任命されたのです。人と話すことがまったくの苦手であった私が支部長になったと云うことで、家族はもとより、友人、知人もみな一様に驚いていました。

そんな時強引な仲人さんが現れ、これも強引に見合いさせられ、ついに結婚することになりました。

新婚旅行は長崎に行きました。でも、何か恥ずかしく長崎では写真一枚も撮ることができませんでした。いま思えば嘘のような本当の話ですが、長崎の新婚旅行の写真は一枚も残されておりません。こんな私でしたがセールスの仕事があまくできるようになりまして。とかく、セールスは話し上手

が原点のように思われがちですが、誠心誠意努力を積み重ねれば誰にでもできると云うことがよく分かりました。

平成十年、この年は私にとって大きな転機となる年でした。二月の私の手術に次いで五月には妻も大きな手術をしました。そして退院後、私たち夫婦は「終の棲家」と選んでおいた伊豆高原の一郭を健康と体力の回復を兼ねて毎日のように歩き回りました。

散歩で見慣れた桜の枝の異常に気づくのにそれほど時間もかかりませんでした。桜がテングス(て



「森のボランティア」活動状況
「日経マスターズ」2005.4月号

んぐ巢)病という伝染病に冒され、春先の花芽も小さくそして少なく、春、花が咲いても桜本来の美しさはなく、どちらかといえば「汚い花」という印象でした。早速伊東市に問い合わせたところ、伊東市では、特にそのための対策はしておらず、また、ボランティア活動

も見られないと云うことでした。

私は「伊東の自然は病んでいる」と思い、いても立ってもいられず、伊東の桜を一本一本歩いて調べ、およそ、五十%がテングス(てんぐ巢)病の被害にあっていることを突き止めました。そのことを地方新聞に投稿すると同好の何人からか連絡が入り、その中の五人で「森のボランティア」をつくりました。

それから五年、「森のボランティア」はおよそ二千本ほどの桜のテングス(てんぐ巢)病の手当をしました。しかし、伊東には二万本ほどの桜があり、それをすべて手当てするには気の遠くなるような時間を必要とします。そして市内の幾つかの企業から高所作業車などの提供もいただきました。

五名でスタートした「森のボランティア」もいまでは一〇六名の大家族に成長しました。メンバーはそれぞれの職場を定年退職し、余生をこの伊東の地で送ろうと、他県から移住した六、七十歳代の人を中心の高齢大家族です。

それぞれ「無理せず」「ケガせず」「楽しんで仕事をする」をモットーに、機関誌「森ボラ便り」を毎月刊行しています。

「森のボランティア」は竹林整備も手がけ始めました。最近では、十年後には河津桜ほどの名所にしようとして、大家族そろって桜や竹林の整備に日夜奮闘中というところ

陸上競技と私



神山心一
(高二十一回)

昭和四十一年四月、憧れの県立沼津商業高校に入学し、そして迷わず陸上競技部に入学しました。

先輩たちの指導は丁寧で、とくに昼休みに行われる「補強」は食べた昼飯が喉で逆流するほどでした。専門的に陸上を学んでこなかった私は、全ての練習が新鮮で、走った分だけ強くなるような気がしました。秋の静岡県東部の新人戦では二〇〇メートルで六位に入賞できました。その時、ウォーミングアップを最初から面倒見てくれた先輩が宮川さん(バルセロナ五輪四〇〇メートルファイナリスト高野進氏のコーチ・本校十九回生)で、このことが縁で宮川さんとは今でも親交が続いています。私は、来年は必ず全国総体に出場すると心に誓い、千本浜での猛練習を自分に課し、その結果、練習は裏切りませんでした。見事に二、三年と全国総体への切符を手にし、三年次には一〇〇と二〇〇メートルで準決勝まで進み、私のその年の夏は終わりました。沼商に入学したのは実家の食堂

を継ぐ目的であり、大学への進学など考えもみませんでした。しかし、三年生の秋に、宮川さんから「順天堂大学に來ないか」とのお誘いを受け、恩師の榎本先生に相談したところ、真剣に、また積極的に考えてくださり、三月の入学試験に合格させていただきました。

当時、順天堂大学は大学陸上界では新興大学として、関東・全日本学生陸上で優勝を狙えるほどで、私が入学した年の五月の関東学生陸上、六月の全日本学生陸上を初優勝で飾り、素晴らしい活躍を見せていました。

その後、私自身もいくつかの学生陸上に出場したい気持ちが強まりました、その冬は血尿が出るくらい走り込みました。「走った分だけ強くなる」という思いで、二年生の四月に学生陸上の標準記録を破り、二〇〇メートルで出場を果たしました。私の実力は、四人出場した中で四番目でした。予選からうまく走り、決勝に進むことができました。決勝は、直線から一気に加速し思い切ったのフィニッシュ。私は二位となり一躍全日本ランキング五位の記録を樹立しました。

その後、多くの方々にお世話になり、学生陸上界の中心選手として走れるようになりました。

大学を卒業後、昭和四十八年に高校教員となり、平成元年に沼津西高校でお世話になりました。

沼津西高校での指導はもっぱら短距離中心でしたが、平成九年に突然御殿場中学より三名の長距離選手が入学してきました。

それに続き近隣の中学から長距離選手が続々と集まり、一年生だけで「県高校駅伝六位入賞か」と報道されるようになりました。しかし結果は七位と惨敗。悔しい思いが残りました。

その年十二月、私は都大路の全国高校駅伝を見、そこでひとつの誓いを立てました。来年は「沼津西高校」を必ず出場させると。

その後、選手も私も意識が大きく変わり、常に全国駅伝出場を意識する言動に努めました。

平成十年に県大会二位、そして平成十一年に念願の初優勝。その時「歴史を変える快走」と報道されました。

全国大会で初出場ながら十四位の好成績でした。その後も「走った距離は裏切らない」この言葉を信じて日々指導をいたしました。

平成十六年の県大会では三年連続、五度の優勝を遂げ、東海大会は初優勝し、全国大会では十三位という過去最高順位を残せました。「夢は必ず叶う」「感謝する心」をキーワードにして、選手も私も成長したと思っています。

そして、私は沼商の卒業生だからこそ、多くの方々のエネルギーをもらえる感謝しています。

この人も同窓生
踊る紙切りおじさん

後藤善行さんは四九二回(高校二回)の卒業生。最近「踊る紙切りおじさん」として地域ではちょっとした有名人。長い間沼津の金岡郵便局の局長として、地域の方から慕われ、最近沼津・三島地区の老人ホームなどに出向き「紙切り」を披露しています。

沼商在学中は美術部に所属し、沼商創立五十周年にはひと教室を借り切り「マンガ個展」を開いたり、丸子新聞のタイトルや挿絵も描きました。



後藤さんの紙切りは、最初は郵便局を利用してくれるお客様への感謝の気持ちからスタートしたといえます。それがいまではあちこちからお呼びのかかる、職人芸の域に達するほどになっています。さらに自治会の役員をしたり、老人会の会長なども仰せつかるなど地域で活躍する旧制と新制にまたがる同窓生です。

アメリカス文化の伝道師
年間売上二百七十億の企業に



石井龍二
(高二十二回)

私は二十五歳の時、留学のためアメリカに渡りました。

そして、カルフォニア州立大学で、会計学を学び卒業後、公認会計事務所就職をしました。その後、私は疲労とストレスから体調をくずし入院する羽目となり、それを機会に転職をすることにしました。

転職後の私に与えられた仕事は、発足したばかりのフランチャイズ部門を担当することでした。ところが私もそうでしたが、フランチャイズ全員がフランチャイズのシステムをまったく理解しておらず、結果として儲からないと担当責任者の私が咎められ、オーナーにそのコンセプトを見直すよう具申しましたが認められず私は辞表を出すことになりました。

一九八六年頃のアメリカは日本食ブームの真っ最中で特に寿司の人気は急上昇という頃でした。

それは当時のアメリカ社会で常にトレンドの先端を行き、高学歴、高収入なホワイトカラーの間で寿司を食べるといことがステータスとなっていたことからもうかがえます。

私はそこに目を付け、アメリカの一般人なら毎日必ず行くスーパーマーケットにこの寿司バーを展開できたというアイデアが閃きました。スーパーに普通のお惣菜の延長線上で流行りだした健康食としての寿司を置けば、他との差別化もできるのではと考えました。

そこで私は余り資金をかけずにできる寿司バー設置策など取り入れた寿司バーコンセプトを企画し、早速、南カルフォニアのいくつものスーパーマーケットにアプローチしたところ、ほとんどのスーパーマーケットが私の寿司バーコンセプトに強い興味を示してくれました。

私の提示した寿司バーはスーパー内に寿司バーを設置させてもらうが、その経営はあくまでも私自身の会社があたるというコンセプトでした。ところが当時のアメリカにはそうした発想はなく、スーパーでは、すべてそのスーパーの従業員となるというものでした。

私の寿司バーコンセプトに共感し実際やってみたいと考えたいいくつかのスーパーから、スーパーの一社員として寿司バーをつくるよう懇願されましたが、私はあくまでも自分の会社としてやりたいということを主張し続けました。

この私の主張が当時南カルフォニア一番のシェアを持っていたスーパーの副社長の目にとまり、私の方法でとにかくやってみよう

ということになりました。そんな経過があつて一九八六年十二月に第一号店のオープンに漕ぎつけました。そして三年の内にそれを四十店舗に成長させました。

その頃、テキサス州のサンアントニオの知人からサンアントニオで寿司バーを開きたいと申し出があり、市場調査をすると、サンアントニオでは寿司バーは時期尚早と判断できましたが、断り切れず三ヶ月と期間を限って試行することにしました。

ところがいざ始めてみると、これがものすごい盛況で、とても需要に追いつかないほどでした。

私はこの一件で寿司に対する自身の評価を変えざるを得なくなりました。いままでの私は寿司はどちらかといえば海辺に近い、高所得者層の多いところでは成功しないと考えていました。それが見渡す限り陸に囲まれたサンアントニオの地での驚くような人気と売上に、私のいままでの考えは間違っていたと気づきました。

その経験を足がかりとして、私は寿司バーをカルフォニア以外の州にも進出させたいと思うようになりました。それも始めは思うようには行きませんでした。根気強く続けているうちにだんだん浸透して行き、業界紙や新聞に取り上げられるようになり、そして世界的なスミソニアン博物館にも取り上げられ展示されております。

去年は二〇〇三年度の米国日系企業における優秀な経営者に選ばれ、日本経営者協会主催の全国経営者講演会にアメリカ代表のスピーカーとして招かれました。

いま私がつとも注意していることのひとつに、食品衛生の問題があります。寿司バーの基となるすし飯についてもその温度や使用時間の制限、酸性度、陳列ケースおよび冷蔵庫の温度など定められた項目について日に何度かは測定記録をしなくてはならず、それぞれの店で日に三、四回はこれを繰り返しています。

私の寿司バーはワイオミング州、モンタナ州、ノースダコタ州以外のすべての州に展開し二〇〇七店舗。そして私の会社の傘下で働いている人は三五〇〇人にも達し、彼らの国籍もアメリカはもとよりビルマ、カンボジア、フィリピン、中国、メキシコ、韓国、台湾など様々です。

最後になりましたが、新しい事業を開くにはしっかりと実証してきた方法を必ずやり遂げるとい力力を養い、それを実行できる人材を選択し、優れた人材を拡大できるだけの能力、さらには限らない課題を効率よく、しかも間違進すれば必ずや結果はついてくるということを申し添えておきたいと思えます。

(アメリカ在住)

支部だより

◆熱海支部◆ 熱海支部に思うこと

梅澤 恵理
(高四十九回)

沼商を卒業し、あつという間に九年が経ちました。当時、自転車を利用し通学することにしましたが、熱海では自転車を見かけないほど坂道ばかりで、私は何とか乗れる程度でしたのでなれない自転車に初めは苦労していました。そのうち一人前に乗れるようになり、雄大な富士山を見ながら友達と楽しく通学していたことを思い出します。

現在私は熱海支部の事務局のお手伝いをさせて頂いておりますが、毎年行われる支部の総会は卒業式を終えたばかりの新会員を祝う会でもあり、和気藹々と楽しい時間を過ごすことができます。

最初は緊張していた新会員たちも、おいしい料理を食べたり、ゲームで賞品をもらうなどしているうちに緊張もほぐれてきます。

私も卒業の際に支部総会に招待していただいた時には大変緊張していました。沢山の先輩たちが声をかけて下さり、嬉しかったことをよく覚えています。

最初は、自分が住んでいる熱海に同窓会支部があることなど知りませんでしたので、大勢の先輩方に迎えられて驚くと同時に、熱海でも有名なお店の方々が大勢いたことにも大変驚きました。こうした素晴らしい先輩たちのいる沼商に行ってよかったですその時改めて思いました。

ただ、残念なことは私と同じ年代の参加者が少ないということですが。総会の案内を送っても熱海以外に住んでいる人が多いためか、「欠席」という返事ばかりです。

総会以外に沼商の先輩方と交流を深める機会はなかなかありません。年に一度の総会ですので、都合のつく方はぜひ参加をお願いします。一緒に楽しみましょう。

◆富士支部(沼商ふじの会)◆ 新たにゴルフ同好会を立ち上げ 事務局長 木村敏志 (高十二回)

平成十七年度沼商ふじの会は四つの行事を掲げてスタートしました。

第一は会員の中にゴルフ愛好者が多いことを察して、四月二十一日(木)十里木CCで第一回の大会を開催しました。十八名(内女子二名)の参加者があり、当日は全員に賞品が行き渡るなど、楽しくプレーできました。第二回目は十月四日(火)、十里木CCで計画しております。

第二の行事は、四月二十九日(金)「富士山麓ブナ林創造事業」への参加。富士市主催の行事に協賛し、晴天の中二十三名の会員が汗を流しました。来年は沼商ふじの会として苗木を提供するつもりです。この資金については、総会懇親会の折、趣旨を説明したところ出席者から五万七千円ほどの寄附をいただくことができました。

第三は定期総会の開催です。六月十二日(日)に本部より水上、広瀬の両副会長、学校より杉山教頭、さらには、鈴木富士市長などにご出席いただき開催しました。

席上、ふじの会設立当初から、会のため大変ご尽力いただいた渡辺会長が勇退し、変わって中西儀久氏が会長に選任され、また、一部役員も改選されました。総会での記念講演は「片腕のプロゴルファー」山手勝氏をお招きしました。氏の関西弁による話術に会場は魅了され、聞き入っていました。

第四は昨年に引き続き文化事業で、今年もまた「立川文志とその仲間たち」を企画しております。会場は昨年同様富士市のロゼシアター。富士市教育委員会、(財)富士市文化振興財団から後援をいただいております。十月二十七日(木)に開催します。

今年も沼商ふじの会(富士支部)は以上四つの事業を活動の柱として新会長以下、全会員一丸となつて挑んでいきます。

沼商思いの横山開一 振興会会長様

定時制部長 大竹清次

定時制振興会の横山会長の死去は部会全体の大きな財産を失ったこととなりました。

横山さんの今までの永年にわたる定時制教育に対する物心両面にわたる心遣いは、本当に大変なことであつたと思います。

親子二代にわたる振興会会長職は、言葉では表現できないほど大変な仕事であり、さぞお疲れであつたとお察しいたします。

私と横山さんのお付き合いは二十年ほど前に、ある会合で席を同じにして以来のことです。その横山さんから、「大竹君、頑張ってください」と云われ、定時制部長をお引き受けさせていただきました。

三年くらい前に私は横山さんの体調が余りよくないとうかがいましたが、横山さんは、ご自分の体調より定時制の行く先を大変心配されておりました。

横山さん、もう、定時制のことは心配せず、ゆつくりおやすみください。そして天国で私たち沼商の定時制を見守ってください。

いま考えると年齢の差など関係なく、誰彼となく気軽に言葉をかけくださいましたことに心より御礼申し上げます。

横山さん、長い間ありがとうございました。

母校この一年

◆全国大会出場◆

全国高等学校I-T簿記選手権

簿記個人の部 中井ちえこさん

I-Tの部 山田純弥君

陸上競技部(定時制)

福田 愛さん

ソフトテニス部(定時制)

大嶽優華さん

◆東海大会出場◆

陸上競技部 細縦優子さん

グランドホッケー部

◆県大会出場◆

陸上競技部 弓道部

ソフトテニス部 吹奏楽部

簿記部 電算機部 ワープロ部

(平成十七年八月一日現在)

後輩たちは大活躍…

簿記部

三十六HR 中井ちえこ

また、ここに来てよかったです、と大阪大会の会場に着いた時思いました。ただただ会場の雰囲気と全国の選手の強さに圧倒されていた二年前。でもあのときと違うと

ころは、全国大会出場の権利を自分で勝ち取ったことでした。

県大会や全国大会で優勝できた強い先輩はもういなくて、部長としての責任や今までの練習のことを思うと、嬉しさと驚きと、それで頭が一杯でした。

やるからには勝つ。というのが先輩から受けついだ簿記部の伝統です。不安はないわけではなかったけれど、全力で頑張りました。

結果は納得のいくものではありませんでしたが、今後に向けての課題も見え、全国大会に出場できた価値は充分あったと思います。在部期間は残り少なくなってきましたが、これからは少しでも後輩たちに何かを残して行きたいと思います。これからも頑張ります。

電算機部

三十五HR 山田純弥

七月十七日のI-T簿記選手権静岡県大会のI-T部門で団体四位、個人三位をとりました。団体の部では、惜しくもあと少しのところ全国大会に出場できませんでしたが、個人の部では全国大会の出場権を獲得することができました。

その全国大会は八月五日大阪で行われ、全国から三七四名もの選手がこの大会に出場しました。ボクらの目標はこの中から十位以内に入ることでした。そのため毎日必死に勉強しました。

全国大会の問題は地区大会に比

べると難しいものですが、自分なりににはよくできた方だと思えました。しかし、結果は全国で二十九位でした。

陸上競技部

三十四HR 細縦優子

私たち陸上競技部にとって最高の大会となったこの県選手権は、三年間沼商で陸上を頑張ってきたよかったですと思えた大会でした。

部員は少ないけれど、毎日の練習で自分を高め、そして一年生の時から一緒に頑張ってきた仲間と最後に出場できる大きな大会だったので、競技に対する意識はとて高く、仲間が気持ちよく走れるために思いやることも沢山できました。

この大会で実感したのは、仲間の支えがあるから、私は緊張することなく落ち着いて試合に臨むことができ、東海大会出場を決めることができましたという事です。

私の、万全な体調で競技をしたという思いを支えてくれた、顧問の先生方や両親には心から感謝したいと思います。そして競技修了後、私を支えてくれ一生懸命応援してくれた沢山の方々にも感謝するとともに、その応援にもっと応えなかったという気持ちで涙が止まりませんでした。これからは陸上競技で学んだことを活かして東海大会は精一杯頑張ってください。

定時制ソフトテニス部

定時制二年 大嶽優華

初めての全国大会、とても楽しみにしていました。県大会三位で全国大会出場を決めました。

試合結果は、団体戦は補欠でした。一回戦の対戦相手は大分県でした。残念ながら初戦敗退でした。個人戦はいろんな事情から棄権としました。

今回は大変よい経験をさせてもらい、感謝しております。来年も全国大会に出場して、まず一勝することを目標にさらに頑張るつもりです。

全国高等学校定時制・通信制

体育大会陸上競技

定時制二年 福田 愛

全国高等学校定時制・通信制体育大会の陸上競技は八月十七日国立競技場で開催されました。そこで女子八〇メートル競技に参加し、予選は一着で通過。準決勝も二着で決勝に進出しました。しかし、結果は九位に終わり入賞できませんでした。

思えばこの四月から陸上競技部一人という状況で練習をスタートさせました。授業が終わりに学校が閉まるまでの僅か四十分の練習時間。そうした限られた時間のなかで何ができるか、どんな練習をしたらよいかを考えながら、一日一日が過ぎ去っていったように思います。

そんな満足に練習できないなかで、多くの先生方にご支援をいただき、なんとか六月の県大会に出場することができ、女子八〇メートルで優勝することができました。

そして八月の全国大会。ここには全国から予選を勝ち抜いた強豪が集うこの大会で、スタート前には緊張でつぶれそうになりながら予選で組一位、準決勝でも組二位という成績を残すことができました。しかしながらもう一步のところで決勝へは進出できませんでした。この大会への出場を糧に今後とも頑張っていきたいと思っています。

英語スピーチ

全国大会での想い

三十四期 園山文代

私は今年の一月、東京で行われた全商英語スピーチコンテストに静岡県代表として出場しました。

家族はもちろん多くの人が応援をしてくれました。多くの人の協力の下毎日練習を重ね、本番を迎えました。当日は西島先生と一緒に会場に向かいました。その時はすでに緊張してました。しかし、大会は始まると同時にその緊張も薄らいで行き、スピーチの瞬間は落ちて自分で力を発揮することが出来ました。それはまた、唯一、自分の世界に入ることの出来た瞬間であり、それに酔いしびれる

ことの出来た時間でもありません。結果はとても満足の行くものではなく、恥ずかしいものでしたが、この悔しさを胸に、これからも頑張っていこうと思います。応援してくれた多くの皆さんに心より感謝しています。ありがとうございます。

吹奏楽部

三十一期 中村梨紗

日本管楽合奏コンテストは人数制限がないので吹奏楽部全員が舞台に立つ最初で最後の大会でした。吹奏楽コンクールでは「聴いている人が感動する音楽をつくり、いまこそ東海大会へ行こう」と練習してきました。

しかし、思いは実らず、やりきれない思いで一杯でした。定期演奏会に目標を改めたとき、日本管楽合奏コンテストの予選に通過したとの連絡がきました。

もう一度吹くことが出来る、と心から嬉しかったことをよく覚えています。定期演奏会と大会との日程が近づいたため練習も大変でした。コンテスト前に合宿を行い、よりよい音楽づくりを目指して誰一人として、最後まで妥協しようとはしませんでした。そして大会に向け気持ちも一つになって行き、本番当日は「いい演奏をしたい。」と心からそう思い演奏を続けました。きつと、その思いが通じたのでし

よう。最優秀賞という結果を残すことが出来ました。私たちは卒業していった三年生から演奏も気持ちもあきらめないことの大切さを学びました。今回のことを糧にさらに頑張っていきたいと思っています。

情報処理技術者

試験に合格

情報ビジネス科三年生の塚田知宏君と山本剛司君が経済産業省主催基本情報技術者試験に合格しました。

基本情報技術者試験は、将来SEなどの情報処理のエキスパートになるための基礎的・基本的な内容を問う国家試験ですが、今回は全体でも十四・三%ほどの合格率しかない難しい試験です。

今年度、春の試験では、全国二千五六二人の高校生が受験し、三十一人が合格していました。合格率は十三・八%でした。

合格した塚田君と山本君は昨年の山田君同様、一年生より基本情報技術者試験に合格したいという夢を持って、毎日、勉強を続け、放課後の補習にも積極的に参加し、試験直前は放課後八時、九時まで学校に残って勉強をして今回合格することができました。

本人たちは「とてもうれしい、秋はその上のソフト開発技術者試験に挑戦したい」といっています。

初級システムアドミニ ストラータ試験に合格

情報ビジネス科の二名が経済産業省の初級システムアドミニストラータ試験に合格しました。この試験の高校生の合格率は約十五%全体では二十五%という狭き門です。

試験は午前と午後に分けて行われ八〇〇点満点の内、六〇〇点以上とらないと合格とならないというものです。

試験はコンピュータで管理する様々なシステムを使いこなせるよう、コンピュータユーザーの専門家となることを問われる試験です。この試験に情報ビジネス科三年生の伊藤武人君と宍倉健太君が合格しました。この二人は共に運動部に所属していますが毎日の授業や家庭学習、補習などでレベルアップを図ったといえます。過去の多くの合格者が電算機部に所属する生徒であったことを考えれば、この二人の合格はこの試験の合格を目指す、他の多くの生徒によい刺激となるに違いありません。

『掃除に学ぶ会』

に参加して

三十四期 柳原理代

今まで、毎日帰りの5分R終了後にあるたった十五分間の掃除がとても長く感じました。掃除に学

ぶ会のトイレ掃除に与えられた時間は二時間。トイレを二時間も掃除することなんてないだろう……と思っていました。いざ始めてみると、二時間はあっという間に過ぎてしまいました。いま、何故トイレ掃除か？このことが最初はとてもし理解出来ませんでした。しかし、便器を一つひとつ磨いて行く内に、何故トイレを選んだかが判るような気になりました。

参加しなければ一生やらなかったであろう便器を素手で磨くこと。そして見る見る便器がピカピカに輝いて行くこと。この驚きは私の頭に確実にインプットされ、いまでも学校のトイレを見ると、この記憶が昨日の出来事のように思い出されます。

私はおそらく二度と出来ないであろう貴重な体験をさせていだだきました。この貴重な経験を私のこれからの生活に充分生かして行きたいと思えます。

沼商屋繁盛記

妻木友紀乃
(高五十七回)

今回で四回目となる「沼商屋」は過去最高の売上、来客数となりました。授業ではPOP広告、店舗比較研究を中心に販売員となるための勉強をしてみました。私は店長となりましたが、自分に自信

が持てなく不安だらけでした。どんな商品を仕入れるか、みんないろいろな案を出し合い、各グループ毎に仕入れ先を訪ね、自分の五感をフル回転させ商品のよいところを見いだし、いくつか仕入れてみました。

前日の準備も一人ひとりがよく動き、すべて順調に事が運びやつの思いで開店にこぎ着けました。初日の開店時の混乱に、まずび

つくり。私自身表情も硬くなり、お客さんによい印象を与えることが出来なかつたのではと不安になる面もありました。しかし、時間の進展とともに徐々に慣れ、お店にも活気が溢れ、それにつれてお客様から沢山の笑顔をいただくことが出来ました。しかし、対応に困ったこともあり、それをみんなの協力と元氣とパワーで乗り越えることができ、一致団結することの力強さや心強さを学びました。

短い実習期間でしたが、沢山のことを学び得たと思っております。最後には「沼商屋」を経験できてよかったとみんなが思い、もちろん私自身もそう思い、とても嬉しい気分となりました。

また、三日間という短い期間ではありますがありますが、私たち二十一人にとっては心に残る大変充実した日々となりました。この「沼商屋」での経験をこれからもどんどん受けついで行って欲しいと思います。

事務局から 第五十二回同窓会総会を開催 会計報告・新役員など承認

「つなごう友情輝け沼商スピリット」と銘打った第五十二回総会が本年一月十六日(日)ホテル沼津キャッスルで、全日制・定時制高十五回・高二十九回・高三十九回を当番幹事として開かれ、会員三九八名が参加する親睦の会となりました。

【常任理事会を開催】
本年五月十三日常任理事会が開かれ、平成十六年度(平成十六年四月一日～平成十七年三月三十一日)の決算報告などを承認。

平成16年度 沼商同窓会育英基金会計決算報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	96,961,263	16年度育英基金	2,700,000
前次年度繰越金	50,420	次年度へ繰越	97,811,520
基金会計が繰入	2,649,580		
16年度期間収益	950,257		
計	100,511,520	計	100,511,520

平成16年度 沼商同窓会基金会計決算報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	8,623,942	育英基金	2,649,580
受取利息	57	次期繰越金	5,974,419
合計	8,623,999	合計	8,623,999

平成16年度 沼商振興育英基金会計決算報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	40,050,011	第5回奨学金7人	3,500,000
16年度期間収益	359,597	次年度へ繰越	36,909,608
計	40,409,608	計	40,409,608

平成16年度 沼商同窓会経常費会計決算報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	6,926,793	会報発行費	1,913,878
年会費収入	2,730,000	年会費諸費	97,500
入会金	1,205,000	名簿作成費	50,085
名簿売上金	1,156,800	会議費	71,409
記念誌賛助金	243,000	事務消耗品費	87,574
C D売上金	1,000	通信費	126,127
雑収入	67	人件費	711,200
		記念品代	82,582
		慶弔見舞金	323,150
		諸雑費	57,095
		次期繰越金	8,742,060
合計	12,262,660	合計	12,262,660

平成16年度 沼商高育英基金会計決算報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
育英基金	2,700,000	奨学金	1,620,000
受取利息	7	奨修費	942,550
		進路事業費	74,710
		次期繰越金	62,747
計	2,700,007	計	2,700,007

【同窓会入会式を行う】
本年二月二十八日、平成十六年度卒業生(全日制二二二名、定時制九名、合計二四一名)の同窓会への入会式が行われました。

【同窓会育英基金】
本校生徒の学業支援、奨励と沼商での生活充実のため、本年六月二十八日に一年生六名、二年生三名、三年生六名、定時制一名の計十六名に授業料相当額を支給。

【阿部英雄奨学金】
平成十六年度奨学金を大学進学者七名に貸与。

【各支部で総会開催される】
熱海支部(支部長杉崎三郎:高七回)は本年三月六日新入会員を迎え支部総会を開催(出席者三十五名)。
富士支部(支部長渡辺泰男:高五回)は本年六月十二日総会を開催。次期会長に中西儀久氏(高七回)を選出。記念講演は片腕のプロゴルファー山手勝氏。

【裾野支部(支部長中川精二:高四回)は本年六月二十五日総会を開き、事業報告、会計報告など承認後、勝又義文氏(高十八回)が記念講演。
謹んでお悔やみ申し上げます
本会の発展に大いに貢献され会長・顧問など歴任された横山開一氏(本年二月二十三日)および相談役などの河本與司幸氏(本年三月七日)がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。